

第 2 回岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会（会議要旨）

令和元年度 第 2 回岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会（会議要旨）

日時	令和元年 7 月 12 日（金） 9：30～16：30
場所	各務原市産業文化センター 8 階第 1 会議室
内容	
1.協議会長挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会は、来年度の岐阜市を除く岐阜地区の小・中学校で使用する教科用図書（教科書）について協議し、岐阜地区採択協議会としての選定を行うことを目的としていること。 ・小学校用の教科用図書については、来年度の新学習指導要領の完全実施に伴い、本年度が採択替えの年度になり、11 教科 13 種目の全ての種目について新たに選定を行うこと。 ・中学校の教科用図書については、令和 3 年度の新学習指導要領の実施に伴い、来年度採択替えの年度に当たるため、現在使用している 9 教科 15 種目を一括して選定すること。また、昨年度採択した「特別の教科 道徳」についても選定を行うこと。 ・採択については、各市町教育委員会で、その責任と権限において、議決を経て行われるが、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条 5 項」により、「採択地区内の市町村の教育委員会は採択地区協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない」と定められており、この採択協議会を構成する 7 つの教育委員会全てが、本日の協議の選定結果に基づき、同一の教科用図書を採択することが必要になること。
2.日程説明	・庶務より日程の説明。
3.会の成立	・委員 25 名中 24 名の出席により、本協議会は成立すること。
4.議案協議 ・経過報告 ○第 1 号議案	<ul style="list-style-type: none"> ・庶務より本日までの経過を報告。 「令和 2 年度使用中学校用教科用図書の選定」について ・中学校用教科用図書の選定については、平成 30 年度の文部科学省検定に新たに合格した中学校用教科用図書がなかったため、前回の平成 26 年度検定合格図書の中で、平成 27 年度の協議会において選定し、各市町教育委員会で採択され、今年度まで 4 年間使用している教科用図書の使用実績について、各市町の教育委員会を通じて調査を実施し、どの種目についても肯定的な意見であったこと。 ・これらの調査と平成 27 年度採択における教科用図書の調査研究内容を踏まえ、平成 30 年度と同一の教科用図書を選定することについて説明。 <p>原案通り選定することに決定。</p>
※議決	
○第 2 号議案	<p>「令和 2 年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書の選定」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書については、特別の事情がない限り、平成 30 年度と同様の教科書を選定する必要があること。

第2回岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会（会議要旨）

<p>※議決</p>	<p>原案通り選定することに決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法附則 9 条に規定する教科用図書について、本協議会においては、調査研究及び審議の対象ではないことを説明。
<p>○第3号議案 調査報告</p> <p>質問1</p> <p>質問1</p> <p>質問2</p> <p>質問1</p> <p>質問2</p>	<p>「令和2年度使用小学校用教科用図書の選定」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この選定に当たっては、新たに文部科学大臣の検定に合格した小学校用教科用図書について、本協議会の委嘱を受けた調査研究員が、これまでに3回の研究員会を通して、詳細な調査研究を行い、選定資料が作成されたこと。 ・選定資料とともに、各市町の教科書展示会において寄せられた意見書や実際の教科用図書等を参考にしながら、1種目ずつ調査研究の代表である主任研究員からの報告を踏まえて審議、議決を行っていくこと。 <p><音楽></p> <p>「音楽」2者の調査研究の結果について、主任研究員から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を専門としない教員への配慮の具体についての質問。 <p>→音楽づくりの学習において、具体的なリズムパターンの提示やグループ学習でのポイントが示されたワークシートが用意されているなど丁寧な説明がなされている旨を回答。</p> <p>※議決</p> <p>教育芸術社を選定することに決定。</p> <p><図画工作></p> <p>「図画工作」2者の調査研究の結果について、主任研究員から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2者の表紙の内容についての質問。 <p>→2者とも、描き方の視点の変化をとらえた表紙となっている。高学年に向けて描き方の視点を学ばせることをよく考えたづくりとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチレンボードを扱う学年についての質問。 <p>→岐阜地区においては低学年で紙版画がよく用いられてきたが、素材として扱ううえで難しさが見られた。そういった中で低学年の段階から版のよさを味わうという点で優れた素材としてスチレンボードの扱いが増えてきている。</p> <p>※議決</p> <p>日本文教出版を選定することに決定。</p> <p><家庭></p> <p>「家庭」2者の調査研究の結果について、主任研究員から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境への配慮についての質問。 <p>→表現の違いはあるが、家族だけでなく地域、周りの人を取りあげ、自分にできることを考えることができるようにするなど学習過程の構成において配慮がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告内容を踏まえ、2者の一番大きな違いとして感じた点についての質問。

第2回岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会（会議要旨）

	→朝食のおかずつくる学習を例に、題材の取り上げ方や単元の構成の違いについて説明。
質問3	・家庭へのフィードバックや家族への働きかけの取り上げ方について質問。 →両者とも学び方のステップの中で家庭へのかかわりについて示されており、工夫が見られる。
意見1	・教科書の見やすさや様々な調理方法の提示、教科書のサイズなどについて配慮があるものがよい旨の意見。
意見2	・保護者にとっても参考になり、親子でみて、家庭を見つめ直せる教科書であるとよい旨の意見。
※議決	委員全員一致とならなかったため、協議会規約第11条第2項に基づき投票を実施。開隆堂を選定することに決定。
	<保健> 「保健」5者の調査研究の結果について、主任研究員から報告。
質問1	・電子機器の過度な使用による健康面への影響の記載についての質問。 →パソコンやタブレットについて取り上げられている。取り上げ方は、健康面とのつながりで扱っているものと犯罪との関連で扱っているものが見られる。
質問2	・単元の出口の構成についての質問。 →単元の学習を通して、どんな自分になりたいかを投げかけている発行者がみられる。
※議決	東京書籍を選定することに決定。
	<生活> 「生活」8者のうち、見本本の提供があった7者の調査研究結果について、主任研究員から報告。
質問1	・単元の出口の学習活動の位置付けと児童に対する難易度の高さについての質問。 →カードでまとめる学習活動を取り入れている発行者、すべての単元に発表する活動を位置付けている発行者などがある。また段階的に様々な交流の仕方を取り入れる工夫が見られる発行者もあった。
質問2	・イラストや写真等に外国人を掲載することの意義についての質問。 →生活科を学習する1・2年生にとっては、外国人を含めて「みんな仲間」というとらえをしやすい時期である。
※議決	東京書籍を選定することに決定。
	<道徳>

質問1	<p>「道徳」8者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え、議論する道徳につながる投げかけ等について各者の状況についての質問。 <p>→各者とも「話し合ってみよう」など、意識して位置付けられている。</p>
質問2	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの取り上げ方についての質問。 <p>→各者ともユニット構成で複数の題材を取り上げるなど、子どもが自ら考えられるように構成等の工夫が見られる。</p>
質問3	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活に生かせるようにするための工夫についての質問 <p>→内容項目について系統立てがなされ、学年内でも題材の関連性が見られる構成となっている。学校や地域の実態に応じて、工夫して実践していくことだととらえている。</p>
※議決	<p>光村図書を選定することに決定。</p>
質問1	<p><国語></p> <p>「国語」4者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各者に共通して取り上げられている教材があるか質問。 <p>→全者で扱っている教材とし「ごんぎつね」があり、比較を行ったことを説明。</p>
質問2	<ul style="list-style-type: none"> ・各者に共通した教材の取り扱い方にどのような違いがあったかについての質問。 <p>→教材の導入にある「扉」のページの内容から説明。プロローグとしての位置付けがされているものと、学習の焦点化や出口の活動の明確化につながるよう位置付けられているものについて例示。</p>
※議決	<p>光村図書を選定することに決定。</p>
質問1	<p><書写></p> <p>「書写」5者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創造的な活動の位置付けについて質問 <p>→新聞やポスターの作成、様々な筆記具の活用例などが取り上げられている。</p>
※議決	<p>光村図書を選定することに決定。</p>
質問1	<p><社会></p> <p>「社会」3者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県の題材の取り扱いについて質問。 <p>→5年生の低い土地に暮らす人々の暮らしに関わる単元で海津市について優れた取り扱いをしている発行者がみられる。</p>
質問2	<ul style="list-style-type: none"> ・各者の資料の内容や質の分析についての質問。 <p>→どの発行者においても、発達段階や他教科との関連などについてよく考えられ</p>

<p>※議決</p>	<p>た取り扱いがなされていた。全体的に写真、図版による具体的な提示がよくなされている発行者がみられた。</p> <p>東京書籍を選定することに決定。</p>
<p>※議決</p>	<p>＜地図＞</p> <p>「地図」2者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p> <p>帝国書院を選定することに決定。</p>
<p>※議決</p>	<p>＜算数＞</p> <p>「算数」6者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p>
<p>質問1</p>	<p>・プログラミング教育を取り扱う時期についての質問。</p> <p>→特に時期が定められていることはないが、学習指導要領には正多角形の学習での活用事例が紹介されている。その単元の中で実施することや年度末に復習を含めて実施することなどが考えられる。</p>
<p>質問2</p>	<p>・プログラミング教育を行う教室についての質問。</p> <p>→各学校のICT整備環境に応じて、柔軟に実施する必要がある。</p>
<p>質問3</p>	<p>・各者の単元の配列の違いについての質問。</p> <p>→各者とも、それぞれの単元の特性を踏まえて工夫した配列がなされている。円の面積を学習したのちに円柱、角柱の学習を位置づけるなど、単元の前後のつながりは、各者それぞれの配列の中で考えられている。</p>
<p>質問4</p>	<p>・練習問題の難易度についての質問。</p> <p>→比較的難易度の高い問題が取り上げられている発行者のほか、難易度を問題ごとに色分けし、個に応じた学習が進められるよう設問の工夫がなされている発行者がみられる。</p>
<p>※議決</p>	<p>大日本図書を選定することに決定。</p> <p>＜理科＞</p> <p>「理科」6者のうち、見本本の提供があった5者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p>
<p>※議決</p>	<p>東京書籍を選定することに決定。</p> <p>＜英語＞</p> <p>今回初めて教科用図書が発行されることを受け、小学校英語の位置付けの変遷やそれに伴う岐阜地区の特徴及び調査研究において留意した点について、主任研究</p>

第2回岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会（会議要旨）

<p>質問1</p> <p>質問2</p> <p>質問3</p> <p>質問4</p> <p>質問5</p> <p>質問6</p> <p>質問7</p> <p>※議決</p>	<p>員から報告。</p> <p>「英語」7者の調査研究結果について、主任研究員から報告。</p> <p>・子どもの興味関心をひきつける工夫についての質問。 →各者ともイラストや写真を多く取り上げている。絵と音声から学習に入っているよう工夫されている。実物写真を多く取り上げている発行者がみられた。</p> <p>・指導者の立場からの利便性についての質問。 →音声面については二次元バーコードや音声CDなどの活用が考えられるため、どの指導者にとっても利便性が図られている。本冊と別冊に分かれているものについて、それぞれの内容が配慮されており、利便性が図られている。</p> <p>・各発行者の技能・領域の取り扱いについての質問。 →5・6年生の2年間の間で全ての技能・領域を取り扱うという点では各発行者とも共通している。読むことの領域をすべて6年生で取り扱う構成になっている発行者もみられる。</p> <p>・現在中学校で採択されている教科用図書の発行者との関連性についての質問。 →今回の調査研究にあたっては、小学校の英語学習に相応しいかどうかを視点に基づいて行った。中学校用教科用図書の発行者については、次年度の採択において適切に調査研究されるものと考えている。</p> <p>・英語における家庭学習の位置付けについての質問。 →「書くこと」については、慣れ親しむことを目標としていることもあり、宿題のように家庭学習に位置付けられることはあまり想定されていないと考える。教科用図書には二次元バーコードが記載されており、家庭学習においてこれを活用することも考えられる。</p> <p>・授業の進め方、特に「読む」「書く」の内容の取り扱いについての質問。 →5・6年生については年間70時間が位置付けられている。読む、書く活動が拡充されている。ただし、慣れ親しむことを通して、書いたり、読んだりすることができるよう配慮されている。</p> <p>・テストや成績についての質問 →具体的な評価は明確には示されていないが、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの観点から評価することは他教科と同じである。テストについては具体的には示されていない。日常の授業における観察で評価していくことになる。</p> <p>東京書籍を選定することに決定。</p>
<p>○第4号議案</p>	<p>「岐阜地区採択協議会に関する情報公開について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択協議会に関する情報公開の請求や問い合わせの対応について ・令和元年度の公開対象文書等について

第2回岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会（会議要旨）

※議決	原案通り決定。
5.今後の予定	<ul style="list-style-type: none">・各市町教育委員会は、その責任と権限において地区選定結果に基づき協議の上、採択の議決をする。・各市町の教育委員会の協議が調わなかった場合、第3回地区採択協議会を開催する。
6.会長閉会の挨拶	<ul style="list-style-type: none">・協議会委員へのお礼